



3月 乳児クラス便り

ぽかぽか陽気の日が増え、子どもたちは戸外で走ったり、歩いたり、探索活動をしたり、元気いっぱい、笑顔いっぱいです。一人で遊ぶことから、お友だちを意識して遊びに誘ったり、近くに寄って一緒に遊んだり、人と関わる姿がよく見られるようになりました。また、思いを伝えようと一生懸命おしゃべりをすることも多くなってきました。友だちと遊ぶことが楽しいと感じるように遊びを工夫して思いっきり身体を動かすことを楽しみたいと思います。今年度も残りあと1か月となりました。成長著しい子どもたちとの日々を大切に過ごしていきたいと思います。



寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになってきました。今年度も、いよいよわずかとなりました。4月当初は、登園時お母さんから離れられず泣いていた子どもたちも今では、笑顔で登園し、お友だちと好きなあそびを楽しみ、自分の思いを表現できるようになり毎日楽しく過ごしています。

3月は、新しいクラスの雰囲気になれるため、にじぐみの部屋であそぶ機会を増やしていきます。にじぐみの部屋のおもちゃであそんだり、トイレを使ってみたりしながら自然なかたちで進級できるように進めていきます。きっと、新しいお部屋にドキドキワクワクしながら慣れてくれることと思います。

暖かくなってきましたので、どんどん散歩に出かけようと思っています。お友だちと手をつないで歩き、草花や虫を見つけたり、春野菜の匂いをかいだり触ったりしながら春を探して歩きたいと思います。



にじ組での生活もあと一ヶ月となり、一人ひとり一年の成長を感じながら過ごしています。身の回りの事は自主的にしようとする、次はどうしたらいいかを考えて行動するなど、意欲的に活動していけるよう励ましながら進めていきたいと思います。お友だちとの関わり方も、おままごとやごっこ遊び、ブロック遊びを通して喜びを共感したり、貸し借りが出来るようになってきました。まだまだ自己主張が強く、ぶつかり合う時もありますが、お互いの気持ちを受け入れ、折り合いをつけて遊べるよう声かけ、見守りたいと思います。進級への期待感を持ちながら、にじぐみでの最後の一ヶ月を楽しく過ごしていきます。

